

白山火山 防災マップ



この火山防災マップは、白山における噴火警戒レベルごとの警戒範囲や登山届の提出方法を示したものです。登山者等はレベルに応じた対応を理解し、十分な事前の情報収集と装備の上、安全で楽しい登山を楽しんでください。

発行：石川県(2022.4)

連絡先一覧

● 緊急時の連絡先

警察署 ☎ 110 (市外局番不要)
消防署 ☎ 119 (市外局番不要)

● 気象・火山に関する情報

金沢地方気象台 ☎ 076-260-1463
岐阜地方気象台 ☎ 058-271-4108

● 関係機関連絡先

石川県危機対策課 ☎ 076-225-1482
白山市危機管理課 ☎ 076-274-9536
岐阜県防災課 ☎ 058-272-1125
白川村総務課 ☎ 05769-6-1311

● 観光情報など

室堂予約センター ☎ 076-273-1001
南竜山荘予約センター ☎ 076-259-2022

噴火警戒レベル 2~3拡大時の 警戒範囲

- 緊急退避場所※1
- 登山届ポスト
- 登山道
- 想定火口域から2キロ (レベル2)
- 想定火口域から4キロ (レベル3)
- 想定火口域から8キロ (レベル3拡大)
- 緊急下山ルート※2



※1 突発的な噴火が発生した場合や、規制の範囲外への緊急下山のための時間が十分とれない場合、緊急退避場所に退避して下さい。ただし、緊急退避場所はあくまで危険を軽減する場所であり、噴石等の危険から確実に安全を確保することができるわけではないことに注意して下さい。
※2 緊急下山ルートは火口域から速やかに離れるためのルートです。

レベル	警戒が必要な範囲	登山者等が取るべき対応
5 避難	想定火口域から概ね 13km (一部流域では概ね19km (谷筋) までの河川内)	危険な居住地域からの避難が必要
4 高齢者等避難	想定火口域から概ね 8km	警戒が必要な地域での高齢者等の要配慮者の避難、住民の避難の準備等が必要
3 拡大 入山規制	想定火口域から概ね 4km	状況に応じて高齢者等の要配慮者の避難準備。登山禁止・入山規制等危険な地域への立入規制等
3 入山規制	想定火口域から概ね 2km	火口周辺への立入規制等
2 火口周辺規制	想定火口域内	状況に応じて火口等への立入規制等
1 活火山であることに留意		

噴火警戒レベルについて

噴火警戒レベルは火山活動の状況に応じて登山者等が「取るべき防災対応」と「警戒が必要な範囲」を5段階に区分し発表する指標で、白山における警戒が必要な範囲等は上の表のとおりです(平常時はレベル1)。噴火警戒レベルの引き上げに伴い、登山道等の立入が規制されます。

〈噴火警戒レベルに関する注意事項〉
降雨時の土石流等、レベル引き上げの対象とならない現象についても注意が必要であり、その場合には、大雨情報等ほかの情報にも留意してください。

噴火に備えて!

Q. 白山はどのような噴火が考えられますか。

A. 白山では熱せられた地下水が水蒸気となって爆発する「水蒸気噴火」と、マグマそのものを噴出する「マグマ噴火」の2ケースが想定されています。

Q. 登山中気をつけなければならないことはありますか。

A. 登山中は携帯電話の電源はONにし、緊急速報メールからの情報に注意しましょう。通信機器の電波が入りにくい場所もありますので、通信可能エリアマップを見るだけでなく、実際に電波が届いているか確認することも大切です。

Q. 噴火の前ぶれはありますか。

A. 何の前ぶれも無く噴火する可能性もありますが、噴気等の異常現象を発見した時は、安全な場所まで避難又は下山するとともに、地元市村や警察、気象台などに通報しましょう。

Q. 噴火が始まったらどうすればいいですか。

A. 噴火に遭遇したら、直ちに火口から離れるとともに、近くの岩陰などの身を隠せる場所に避難しましょう。また、ヘルメット・ゴーグルを着用し、マスクや湿らせたタオルなどで口を覆いましょう。

ポイント!

白山は活火山です。登山の際には、登山届を提出し、ヘルメットを持参しましょう。『あなたの身を守るのはあなた自身です!』最近、軽量のものや折り畳み式のヘルメットも増えていきますので、自分に合ったヘルメットをお探しください。

登山にあたって

【体調を整えましょう】

睡眠を十分にとり、体の調子を整えておきましょう。
風邪をひくなどして体調が悪いときは登山を中止しましょう。

【余裕を持った計画を立てましょう】

自分の体力にあった無理のないコースや日程で計画しましたか？
登山地図などのコースタイムは休憩時間を含んでいません。
また宿泊地へは遅くとも日没の2時間前には到着するようにしましょう。
室堂、南竜山荘のチェックインは16:00までです。

【登山に必要な準備】

十分な装備を準備して出かけましょう。
天気予報など、事前にしっかり情報収集をしましょう。
万が一の噴石の飛来に備え、ヘルメットを持参しましょう。

- 地図
- 方位磁針
- 時計
- 救急用品
- 防寒着
- モバイルバッテリー
- 替下着
- 雨具
- 手袋
- 携帯電話
- ヘルメット
- 懐中電灯
- タオル
- 非常食
- 携帯ラジオ
- ゴーグル

白山について知る (ウェブサイトなど)



県危機対策課
「白山への登山について」
ヘルメット等の装備品の携行をはじめとする、
登山中の心得などを確認できます。



県自然環境課
「白山登山情報」
山小屋、登山道の状況を見ることができます。



気象庁「白山」
噴火活動史、現在の噴火警戒レベル
などを確認できます。



白山市
「メール配信サービス」
災害情報等、白山市からのお知らせ
を配信するサービスです。



白山観光協会
「白山ベストガイド」
お天気情報、登山施設案内を見
ることができます。

携帯電話利用可能 ルートマップ (別当出合～山頂付近)

- NTTドコモ利用可能
- au 利用可能
- ソフトバンク利用可能
- 圏外又は不安定
- 登山道(未調査)
- ☎ ラジオ聴取可能



実際の使用の際には、季節により電波状況が大きく変化するため、上のマップでは、利用可能となつている場所においても利用しづらい場合があります。

最新の通信状況については、各通信事業者にお問い合わせ下さい。

ラジオについては、以下の局のうち、いずれかが聴取可能な地点を示しています。

ラジオの周波数	NHKラジオ第一(福井)	92.7kHz
	NHKラジオ第一(金沢)	1,22.4kHz
	NHKFM(福井)	83.4MHz

登山届の提出について

●安全な登山を行うにはしっかりとした登山計画書(登山届)が必要です。白山の特性や火山活動の状況を十分に把握した上で綿密な登山計画をパーティー全員で検討して作成し、計画に基づいた装備品等を携帯して登山してください。

●石川県では、「石川県白山における火山災害による遭難の防止に関する条例」により、登山届の提出が義務付けられています。白山の活火山地区(火口域から4kmの範囲)へ登山する場合は、登山届を必ず提出して下さい。
登山届を提出しなかった者、虚偽の届出をした者は、5万円以下の過料が科せられます。

登山届の提出方法

●インターネットによる届出

危機対策課ウェブサイト

http://www.pref.ishikawa.lg.jp/bousai/bousai_g/hakusan_kazan/jorei.html

●登山届ポストへの投函

登山口に設置してある登山届ポストへの投函
裏面「届」参照

●持参、郵送、FAX、メール

石川県危機対策課 石川県警察本部地域課
白山警察署、交番・駐在所
条例の内容、登山届様式など詳しくは
上記危機対策課ウェブサイトをご覧ください。



QRコードから
アクセスできます。

白山で想定される火山現象



【溶岩流】

伊豆大島噴火の溶岩流
(昭和61年11月19日)

高温のマグマが地表に噴出し流れ下る現象で、建物などをのみこみながら、破壊し、壊滅的な被害をもたらします。速度は比較的遅く、人の足による避難が可能です。



【火砕流】

雪仙岳の火砕流
(平成6年6月24日)

高温の火山灰や岩塊、空気や水蒸気が一体となって急速に山体を流下する現象です。速度は百数十キロ、温度は数百度にも達します。



【降灰】

三宅島の降灰
(平成12年7月16日)

火山灰が噴火により地上に降ること。噴出した火山灰は風に流され、時には数百キロ以上運ばれます。健康被害の恐れもあるため、風下側で噴火に気づいたら、屋内に避難するか、口と鼻を覆いましょう。



【噴石】

浅間山の噴石
(平成17年8月4日)

噴火によって吹き飛ばされる岩石のことで、大きなものでは建物の屋根を打ち破るほどの破壊力を持っています。小さなものは火口から10キロ以上飛ぶこともあります。